

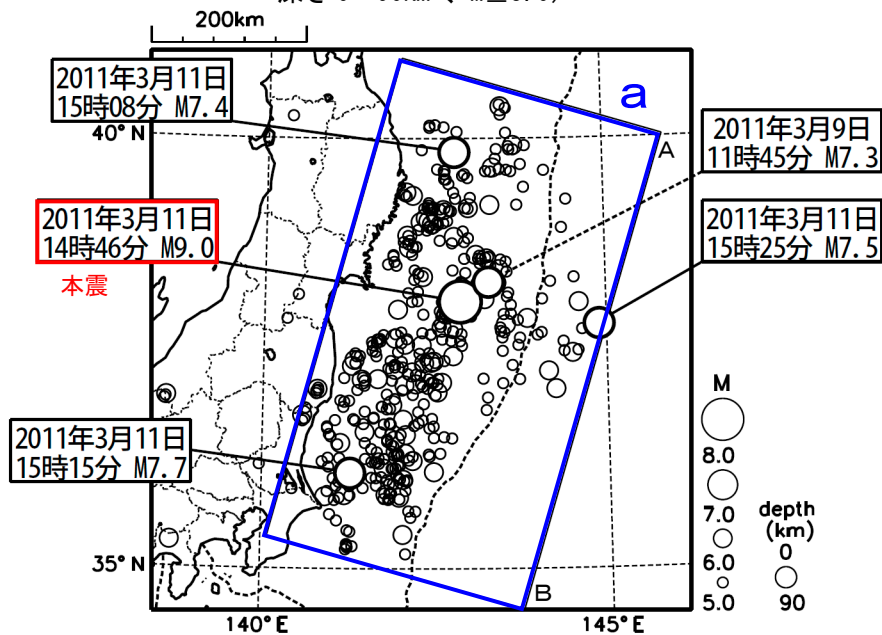
平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震

2011 年 3 月 11 日 14 時 46 分に三陸沖で、M9.0 (Mw) の地震（最大震度 7）が発生した。この地震の発震機構は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震であった。

また 3 月 11 日 15 時 08 分に M7.4 の地震、11 日 15 時 15 分に M7.7 の地震（最大震度 6 弱）、11 日 15 時 25 分に M7.5 の地震（最大震度 5 弱）が発生するなど、これまでに M7.0 以上の余震は 3 回、M6.0 以上の余震が 66 回、M5.0 以上の余震が 394 回発生するなど、余震活動は非常に活発である。

今回の地震が発生する 2 日前には、北東側で M7.3 の地震（最大震度 5 弱）が発生していた。

震央分布図（2011 年 3 月 9 日～2011 年 4 月 7 日 06 時、
深さ 0～90km、 $M \geq 5.0$ ）



領域 a 内の時空間分布図 (A-B 投影)

